

北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

道育成会主催

第10回

特別研修会

地域で安心して暮らせるために 感染対策を万全に、日高ブロック新ひだか町にて開催！

10月30日(金)

競走馬のふるさと日高管内、新ひだか町において、町内外から60名を超える参加者のもと、『特別研修会』が開催されました。



新ひだか町大野町長様開会のご挨拶

テーマは、障がいがあっても無くても地域でその人らしく安心して暮らすには、どんなことが必要なのか。特に現在のようなコロナ禍にあつて、障がい当事者や家族の現状を見据え、支援の在り方を共に考えようという内容です。

まずは、道育成会佐藤会長より「コロナは私たちに何をもちたらしめたか」と題して、危機的状況にある就労系事業所の運営や、職員への待遇、そして、感染者に対する許されない差別や偏見といった現状が報告されました。また、そうした困難に打ち勝つ、将来ビジョンへの提案や決意表明もあり、大変参考になりました。

その後、(一社)全国手をつなぐ育

成会連合会常務理事兼事務局長の又村氏による講演「新型コロナウイルスと知的障害のある人の暮らし」へと続き

ました。関係機関との協力体制や、不測の事態に備えるための業務継続計画(BCP)の検討、確立等の重要性が強調されました。特に漠然とした不安を抱く状態のままにせず、当事者やその家族が感



染した場合を想定し、相談支援事業者と「感染時緊急対応プラン」等を作成、具体的な困難を明らかにしながら、必要なサービスの事前把握に努めるとの提案は、大変有意義なものでした。

取り組み開始より10回目となる節目を迎えるに至った本研修会は、日高ブロック育成会の強い要請により、新ひだか町での開催となりました。会員の減少や高齢化による会の衰退は日高ブロックだけではなく、全道的な課題で

す。道育成会も活性化に取り組んではいますが、今後とも各ブロックの理解や、お力添えをよろしく願います。

最後に、又村氏には事前のPCR検査にご協力をいただき、静内耕生舎様には、会場の三密を防ぎ、換気や消毒を徹底、感染予防に万全を尽くしていただきました。共催後援を賜りました新ひだか町、新ひだか町社会福祉協議会、新ひだか町手をつなぐ育成会様にはこの場をお借りし、心よりお礼申し上げます。日高管内手をつなぐ育成会連絡協議会

事務局長 大関薫

(静内ペテカリの園常務理事)

《研修会参加者の感想》

○大変勉強になった。コロナ感染だけでなく、障がい者に対する偏見等の考え方や、障がい者との共生への意識が大切であると、改めて再認識した。(行政関係者)

○今後も新型コロナウイルスと付き合っていくかはならない中、自分の考え方を見直す機会になった。(事業所職員)

○クライシスプランの作成は、障がい者だけでなく、高齢者介護にも必要だと感じました。BCPについても職員の不安を取り除くことにつながり、災害時以外にも感染症を含めた計画の策定につて、職場内で検討していきたいと思う。(行政関係者)

○障がい者家族が罹患した場合の計画作成、クライシスプランについては正直考えていなかった。講演が、科学的、客観的でとても参考になった。(事業所職員)

道育成会通所事業所連絡協議会 第4回役員会・役員研修会

令和3年度報酬改定の方向感について

10月31日、本来であれば、全育連、又村事務局長をお迎えし「魅力ある事業所づくり研修会」を開催する予定でした。しかし、道独自のコロナ感染症「警戒ステージ」が「1」から「2」に変更されたことを受け、全道から札幌にお集まりいただくのは適切ではないと判断。中止としました。しかし、同日午前に予定していた、役員会は、それぞれ近隣の自治体から選出され、少人数で構成されているとの判断で感染対策をしっかりと講じた上で予定通り開催。次の事項について検討、協議、研修を行いました。

◎森本会長のご逝去に伴い、会長職が空白となりましたが、規約に基づき、6か月後に予定される、令和3年度定期総会での役員改選まで、小玉副会長（社会福祉法人ゆあみ会常務理事、総括施設長）が会長職を代行します。

◎又村事務局長より、令和3年度に



おける報酬改定議論の現状やサービスクの主な論点についてご報告をいただきました。一言でいえば「報酬改定の方向性は新型コロナの影響で非常に厳しく、全体としてマイナスとなる可能性も否定できない。」とのことでした。そこで、道内事業所の現状をお伝えし、関係機関へ要望を届けていただきたいとお願いをさせていただきました。



その後、11月16日、又村事務局長より次のような情報提供がありました。

全育連は障害者施策に関する国の各種審議会等に委員として参加しています。中でも、内閣府の「障害者政策委員会」と厚生労働省の「社会保障審議会障害者部会」は、障害者施策の方向性を審議する大変重要な委員会、部会です。

11月9日に開催された「第102回社会保障審議会障害者部会」での全育連からの発言要旨を紹介いたします。

障害者就労に係る最近の動向について

(1) 障害者優先調達推進法については着実に実績が上がっている点を評価している。新型コロナウイルスは人的接触を減少させることから、その影響は地域密着型の経済に大きなダメージを与えると予測しており、その影響は来年度以降

に顕在化してくると考えられ、期間限定の発注でも良いので公的機関からの仕事で支えて欲しい。

(2) 前回の報酬改定議論でも触れていたが、就労継続支援事業の「施設外就労支援加算」について、要件緩和の反面で加算廃止の方向性が示されている。おそらく職員が巡回するなど良い扱いとすることが想定されるが、特に地方の事業所では施設外就労の場所が近接していないため、職員を充てざるを得ない。この方向では、加算の廃止が施設外就労の終了となってしまうケースも想定され、少なくとも段階的な対応をお願いしたい。

*全育連には、こうして、即座に対応いただいたことに心から感謝申し上げます。同時に、声を挙げること、声を束ねていくことの大切さを改めて感じているところです。

なお、役員会では「施設外就労支援加算」のほか、「食事提供体制加算」についても廃止の方向との情報がありました。利用者の生活実態を見ない判断であり、継続を希望します。

また、そもそも「加算・減算」制度や、日割り請求制度が事業所の安定運営に大きな影響を与えており、根本的な議論が必要との指摘もありました。



お知らせ①

●主催…北海道教育委員会

テーマ…障がい者就労促進地域連携事業
成果普及実践交流会

「地域で学び、地域とともに」
時期…12月11日(金)10時～

※Web配信のみになります。
障がい者の職業的、社会的自立に向け、特別支援学校と地域や企業が連携し、様々な取り組みが展開されています。

交流会の第1部では、道内支援学校6校からの実践報告。第2部では、障がい者雇用に努力する企業からの報告。そして、第3部では、学校、企業、行政機関それぞれの担当者によるパネルディスカッションが行われます。司会は、一昨年、第64回全道大会名寄大会で大変お世話をいただいた「名寄市立大学 矢口准教授」、また、パネラーの一人として「社会福祉法人陽だまりの会 長谷川施設長」が登壇されます。多くの方々の参加をお待ちしています。なお、詳しい内容、申込方法は、道育成会ホームページをご参照ください。



コロナに負けるな！事業所応援キャンペーン

企画：北海道手をつなぐ育成会 通所事業所連絡協議会

道育成会では新型コロナ禍で生産活動収入が減少した事業所への応援キャンペーンを企画しました。10月号に続き、事業所製品をご案内します。この機会に普段なかなか手にできない全道事業所の製品をお取り寄せされてはいかがでしょうか。

やまびこ (特非) 恵庭市手をつなぐ育成会 / 恵庭市



びっくりどっきり
ドリームセット
3,500円(税込・送料込)

- ぬいぐるみ2体
*サイズ～高さ22cm前後
*種類～イヌ、ネコ、ウサギ、クマなど
- 刺し子8枚
*木綿100%のさらし布使用、30cm四方
- 刺し子も縫いぐるみもお手元に届くまでのお楽しみ!

【ご注文方法】

- ①注文される方のお名前 ②注文される方のご住所
③電話番号 ④お届け先 ⑤注文数 を明記の上、

yamabiko@y9.dion.ne.jpまでメールにてご注文を。

なお、育成会や事業所でまとめていただくとありがたいのですが、難しい場合はお電話でご相談下さい。メールでご注文できない場合は☎0123-34-7717までお電話ください。

【お支払方法】

ご注文受付後、折り返し払込用紙を送付いたします。お支払いいただきご注文完了となります。(払込手数料はお客様負担でお願いいたします)

【締切】1月29日(金)

【発送日】ご入金確認後、10日ほどでお届けします

お知らせ②

『令和2年7月豪雨募金』について

本年7月10日よりお願いしておりました標記の募金につきまして、次のように全育連事務局に届けましたので報告します。ご協力、誠にありがとうございました。

「義援金」(被災した育成会会員への見舞金)

96,000円

「災害等活動支援基金」(被災地における育成会活動を支援する資金として)

計 106,000円

今後の予定

※12月7日に予定していた「第3回理事会」は11月17日、道独自の指標である「コロナ感染症「警戒ステージ3」(札幌市、4相当)を受け、会議を中止し、書面決議に切り替えることに決定しました。それに伴い、理事会冒頭に予定していた「令和2年度会長表彰授賞式」も中止となることから、事務局より受賞者の所属する各育成会へ賞状、記念品をお届けすることとします。

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…
全国で約140,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目8-2
SRビル4F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償
※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事事故対応費用補償
※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かねでる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年1月現在の内容です。(D-004359 2021-03)

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんの
ある方、
ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険
少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険
特別短期健康障害賠償保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート



このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

0120-322-150

平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

URL: http://www.z-kyosai.com/

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

弁護士が
全面的に
サポート

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協会の
目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

北海道手をつなぐ育成会 通所事業所連絡協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かねでる2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

NPO法人地域共同作業所 もみじ工房

〒081-0222 河東郡鹿追町東町2丁目5-1

電話&FAX(0156)66-1900

E-mail: bz904847@bz04.plala.or.jp

★地域活動支援センター

☆定員…15名

★主な作業

☆リサイクル石鹸製造・販売

☆花苗生産・販売

☆スニーカークリーニング

☆リサイクル紙製品

☆花壇植栽・管理

☆切り干し大根・生産・販売

☆各種下請け



廃油を利用した石鹸